

農山漁村地域整備計画における事後評価

- 1 整備計画名：第4期あいち食と緑の森林基盤整備事業計画
- 2 整備計画年度：平成31年度～令和3年度（3箇年）
- 3 事後評価年度：令和4年度

項目	評価の内容
① 交付対象事業の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・県産木材の生産促進を図るため、効率的な木材生産に必要な路網を整備した。また、林道施設の点検診断、保全整備を行うことにより林道の長寿命化を図った。 ・愛知県森林公園や愛知県民の森において、来園者が気軽に林内を散策し、森林環境を直接体験できるよう除伐や刈り払い、森林調査を実施した。 ・スギ・ヒノキの人工林に対し花粉発生源対策として立木の伐倒、花粉症対策苗木の植栽を行い、花粉の少ない森林への転換を図った。
② 事業効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・路網整備及び林道施設の長寿命化対策に伴い搬出間伐等が推進され、県産木材の生産が促進された。（計画期間3箇年計941 m³） ・令和3年度の森林公園の利用者数は、104万人で、計画策定年度（平成30年度100万人）の利用者を約4%上回る結果となった。また、県民の森利用者数は、30万人で、計画策定年度（平成30年度47万人）の利用者数を約36%下回る結果となった。 ・スギ・ヒノキの人工林に対する花粉発生源対策が図られ、花粉の少ない森林への転換が図られた。
③ 成果目標の目標値の実現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・路網整備等が進み木材生産が効率的になったことから、当計画地域の木材生産量は年間200 m³の目標に対して年間314 m³の実績となり、計画に対し157%となった。また、3市町村において個別施設計画を策定し、計画に対し100%の実績となった。 ・令和3年度の森林公園利用者数は目標の108万人に対して104万人であり96%の実績であった。また、令和3年度の県民の森利用者数は目標の52万人に対して30万人であり、58%の実績であった。これらの原因は、森林整備の不備というより、新型コロナウイルス感染症による宿泊施設等の利用の減によるものでやむを得ないと考えている。 ・花粉発生源対策をすすめたことにより、目標3.50haに対し3.10haの森林について転換が図られ、目標に対し89%の達成率となった。面積の減少は、事業実施時の調整及び精査によるものである。
④ 今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も県の基本計画である「食と緑の基本計画2025」に基づき、林道等の路網整備や長寿命化対策を進めることで、県産木材の生産と利用の促進を図る。 ・引き続き、森林公園、県民の森の施設管理を適切に進めることにより、利用者にとって魅力ある施設とし、利用者数の増加を目指す。 ・スギ・ヒノキの人工林に対して花粉発生源対策を引き続き行っていく。